

第1回 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和6年10月21日(月) 午前9時30分から午前11時30分
開 催 場 所	横浜市栄区民文化センター「リリース」 会議室
出 席 者	吉永崇史委員長、海野由喜代委員、千原友子委員、箕口一美委員、柳田満(号煌海)委員(5人)
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者0人)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長の選出について</li> <li>2 会議の公開・非公開について</li> <li>3 栄区民文化センター「リリース」の運営状況について</li> <li>4 評価項目の決定・評価の進め方について</li> <li>5 質疑応答</li> <li>6 施設見学</li> </ol>
決 定 事 項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 吉永委員が委員長に選出された。</li> <li>2 「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第31条及び「横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱」第9条に基づき、公開とした。</li> <li>3 栄区民文化センター「リリース」の運営状況について指定管理者から報告があった。</li> <li>4 評価項目の決定・評価の進め方については、事務局案が了承された。</li> </ol>
議 事	<p>1 栄区民文化センター「リリース」の運営状況について (吉永委員長) 総来場者数は、各諸室利用者以外の、情報を探しに来た人も含まれるのか。そのような人は減っているのか。</p> <p>(指定管理者) 少し減っている。</p> <p>(吉永委員長) 利用率はほぼ100%に近づいている。 総来場者数は、目標138,800人に対し、105,890人と、目標に3万人ほど達していないが、それはやむを得ないという話なのか、それとも、あくまでも目標をこれからも目指していこうと考えているのか。現実的にはかなり難しいとも考えられるが。</p> <p>(指定管理者) いったんコロナ禍で減ってすぐ戻るとは考えていない。ただ、他区では頑張っている区もある。</p>

利用率ではなく、利用者数でいうと、ギャラリーと会議室は減っている状況。そこについては施策を考えている。例えば、会議室は飲食ができる場所。他の会議室とは違う取組をしていきたい。

今の目標値は、コロナの影響を考慮しない数値。これを直接これからも目標にしてしまうと、見誤ってしまう。現在の状況を考慮しつつ、ストレッチした数値を目標にしていきたい。

(吉永委員長)

ギャラリーの稼働率は、実は平成30年度より、令和5年度の方が高い。

おそらく、ギャラリーに来る人数が減っているということだと思う。

今、ネットでも情報がとれるという状況もあり、平成26年度にギャラリーの来場者数が43,320人だったことを考えると、減少傾向にある。収入は維持しており、頑張っているが、来場者数だけを考えると構造的に難しい部分もあると思う。

(吉永委員長)

令和4年度及び令和5年度の決算で、光熱費があがっているが、光熱費についてのリスクについてはどう考えるか。

(指定管理者)

ご指摘の通り、影響は大きい。令和5年度、空調は壊れていたため、30%ほどの稼働。修理されて、稼働率が上がり、令和6年度はまた光熱費があがっている。

2 横浜市栄区民文化センター指定管理者業務評価の方法について  
事務局が評価方法に関して説明を行い、事務局案が了承された。

3 評価項目及び評価基準について

(海野委員)

収支計算書は、指定管理者自身が作成したもので、監査は入っていないのか。

(事務局)

監査は入っていない。

(海野委員)

指定管理者は利益を出してもいいのか。

(事務局)

利益を出してもいい。それも指定管理者制度の目的。

(海野委員)

決算額を見ると、売上と支出がほぼ同じ。

(事務局)

コロナ禍で苦しい中頑張っていた。

(海野委員)

この間、指定管理者としてのメリットはなかった？

(事務局)

指定管理者が得られる収入には、利用料金収入、指定管理収入とあるが、それで光熱費等の赤字をみていただいているというのが、現在の実情。

(箕口委員)

行政目線でいうと、指定管理者制度で、どの程度、指定管理者が利益をあげるかは、あまり介入しない話。他の指定管理者施設でも、売上と支出が同じケースが多い。

(吉永委員長)

自主事業の支出と収入を見れば、指定管理者が頑張っていらっしゃるかわかる。自主事業を行うことはリスクだが、さきほどの説明だとリスでは黒字とのこと。

(海野委員)

収支決算書の事務経費（本部分）はどのようなものか。

(指定管理者)

この施設に係る本部の経費。具体的にはホームページの制作にかかった費用。

(海野委員)

貸借対照表がないと判断できない部分もある。

(箕口委員)

他の施設も評価させてもらっているが、この施設はアンケートのまとめや誰がどんな仕事をしているか、どこに気をつけているか、清掃の業務基準等

も記載しており、非常に丁寧。評価の際に使いやすい。  
いわゆる外部からの評価のピックアップが少ない。例えば、どれだけバズったか、アンケートで拾いきれない部分も多くある。どれだけ受付の人が丁寧な対応をしても今の人たちはアンケートを書いて置いていってほしくない。そういうところが本当は欲しい。そうすればどれだけリリースが愛されているかわかる。  
検証指標のひとつとして今後考えていってほしい。  
リリースは他の館が抱えている問題を克服している。  
指定管理者制度ができて、しばらく経つ。評価の基準を変えていくタイミングでは。ちゃんとやっているのに、なおさらもったいないと感じる。  
ギャラリーの位置づけの変化についても指定管理者が一番よくわかっているはず。数じゃない、状況分析。

(柳田委員)

定性的な評価項目が多いが、定量的な評価をもっとしてほしい。  
携わったプロジェクトマネジメントでは、安全性を定量的に評価した。  
定量的に評価したほうがわかりやすい。  
定性評価は個人の意見でいいかげんになっていく。  
そういったことも将来考えていっていただけるとよい。

(千原委員)

来場者数の件だが、リリース主催でないコンサートを団体利用で、ホールをお借りして開催している。先日の公演では 280 名程度の方に来ていただきほぼ満席だった。最終的に何名入ったか、その数値は入っているか。

(指定管理者)

入っている。日報で書いている。

(吉永委員)

今後、SNS の評価もふくめられるといい。定量的な評価に関しても次回の評価時にご検討いただけるといい。

SNS のアカウントは持っているか。

(指定管理者)

インスタグラムはアカウントは持っているがフォロワーが少ない。

LINE は 3000 人フォロワーがいるが、一方通行の利用。

(吉永委員)

インスタグラムはプロアカウントに切り替えればインサイトのデータを分析で

	<p>きるようになる。</p> <p>(箕口委員) 美術館等でどこまで数字にできるのか、定量評価の方法は今までも議論があった。</p> <p>この様式を検討した当時、明らかに数字にできるもの以外を定量化できる段階ではないという判断だった。</p> <p>(吉永委員長) 第2回の評価委員会のなかでできるだけ答えていただくのは可能ではないか。</p> <p>(箕口委員) できれば、資料にでてくる元号の後に西暦を入れてほしい。</p> <p>(吉永委員長) 可能な範囲で対応してほしい。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 第1回 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会 次第</p> <p>(2) 委員名簿</p> <p>(3) 横浜市指定管理者第三者評価制度について</p> <p>(4) 横浜市栄区民文化センター「リリース」の概要</p> <p>(5) 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱</p> <p>(6) 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（抜粋）</p> <p>(7) 栄区民文化センター「リリース」の運営状況</p> <p>(8) 評価方法について</p> <p>(9) 第4期横浜市栄区民文化センター指定管理者業務評価表（案）</p> <p>(10) 評価基準（案）</p> <p>2 特記事項</p> <p>今回は、令和7年2月27日（木）9時30分から開催予定。開催場所は、栄区役所本館4階2号会議室。</p>